

石 森 延 男 著

東 京 市 神 田 區 神 保 町 三 丁 目 一 九
大 阪 市 住 吉 區 北 田 邊 町 三 〇 六

横 山 書 店

幼 な 子 へ の お 話

四 六 版 二 百 五 十 頁
色 刷 美 術 插 繪 八 葉
裝 禎 瀟 洒
Y. 1.60

お母さんや幼児の先生方は、お子さんたちから、お話をせがまれないでせうか。お話
がなくなつてお困りにならないかしら。そんな時には、どうすればいいのか、どうす
ればお話が作れるやうになるのか。この本は、そのことについてわかりやすく丁寧に
かいてあるそれは美しい手引書であります。

推 薦 の 言 葉

倉 橋 惣 三 先 生

お母さんにお話をきかせていただくことは、子どもの大きな幸福である。しかもその幸
福は、お母さんの方に、もつと大きいかもしれない。この幸福に気がねしてゐるお母さ
んが必ずしも少くない。「お話をしらないから。」そんなことに氣おくれしては、わが子
の求める幸福を與へかねたり自分の幸福を我さうけかねたりしてゐる。「お話なんてそん
なにむづかしいものではありませんよ。」さひひながら、にこやかに相談相手にならうと
してゐるのがこの本である。本書が、お母さん方の幸福を増すことを疑はないと共に、
幼児の先生にも、姉さんにも、ぜひ薦めたいと思ふのは私ばかりではあるまい。